

皆既月食を見よう！

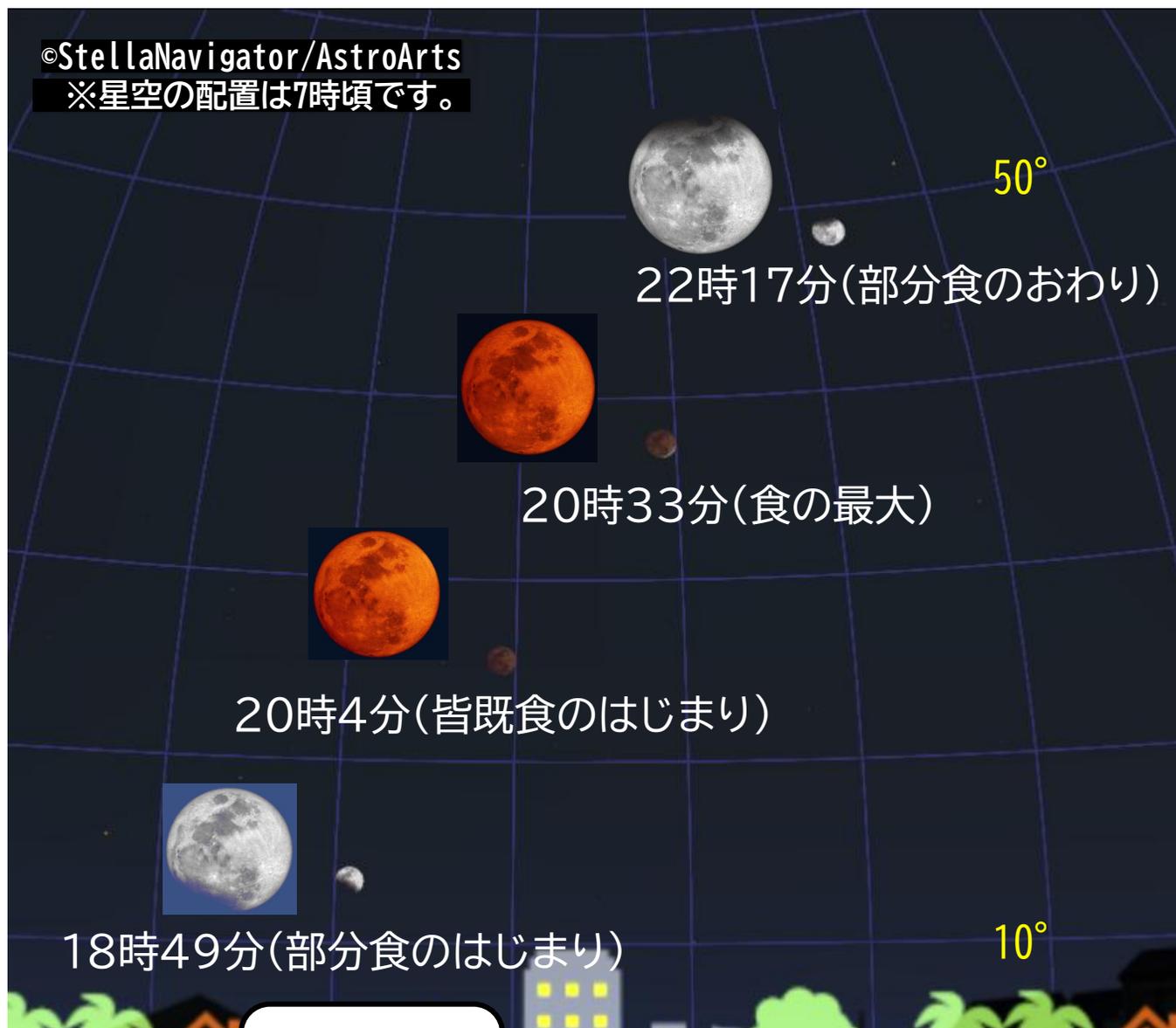


<皆既月食>

3月3日（火）に皆既月食が見られます！19時頃から22時頃にかけてと見やすい時間なのも◎ 今年のひなまつりは皆既月食をみよう！

©StellaNavigator/AstroArts

※星空の配置は7時頃です。



東

<3日（火）の夜に東の空を見上げてみよう！>

上図は3月3日（火）19時～22時頃の空です。当日の月の出は18時ころ、そのあと一時間足らずで部分食が始まります。20時30分ごろが食の最大と、観察するにはうってつけの時間帯です。「東」の空を観察しておきましょう。

皆既月食を見よう！

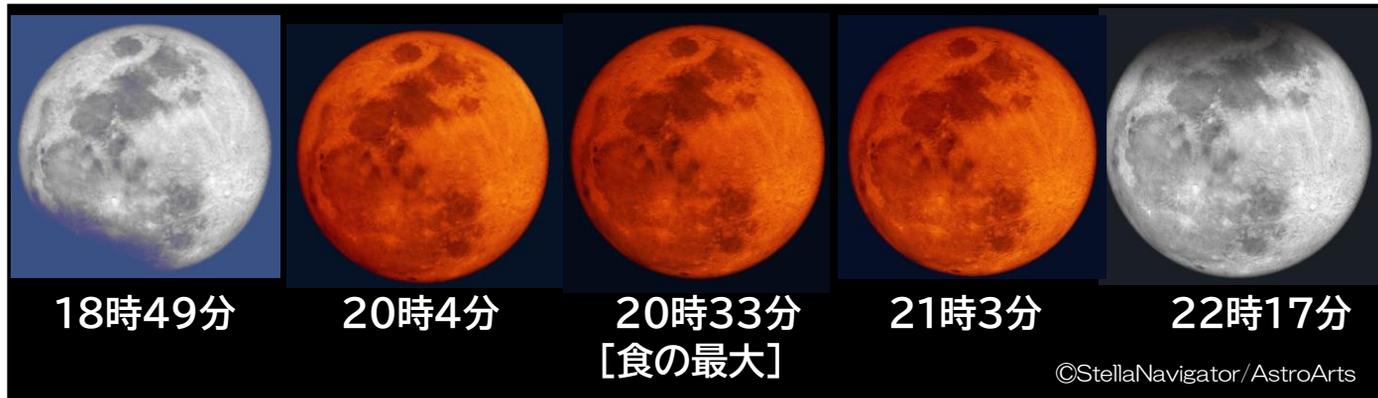


<概要>

2025年9月8日ぶりに皆既月食がみられます。前は深夜3時頃と夜明け前でしたが、今回は20時30分頃とかなり見やすい時間帯の現象となります。前は見られなかった！という方も今回は必見です👁️
ご家族・ご友人と、次第に色を変える神秘的な月を見てみてはいかがでしょうか？

また、この日は「ひなまつり」🎏近くにみえるであろう【ひなまつり星(ふたご座のカストルとポルックス)】も探してみてくださいね。
ちなみに、次回日本で見られる月食は2028年7月7日七夕の日の「部分月食」です。

| 3月3日スケジュール | 月食の経過 | 備考 |
|------------|--------------|----------------------------|
| 部分食のはじまり | 18時49分 | 部分食の継続時間(約1時間55分) |
| 皆既食のはじまり | 20時4分 20時33分 | 皆既食の継続時間 (約1時間) |
| 食の最大 | 20時33分 | |
| 皆既食のおわり | 21時3分 | |
| 部分食のおわり | 22時17分 | 部分食の継続時間(約1時間13分) |



<観察のポイント>

- 東の空の見晴らしが良い場所がオススメ！
- 赤く色付く皆既月食の見頃は20時33分前後！
- 望遠鏡を使わなくても、肉眼で十分楽しめる！



※防寒対策を十分に
行って楽しみましょう！



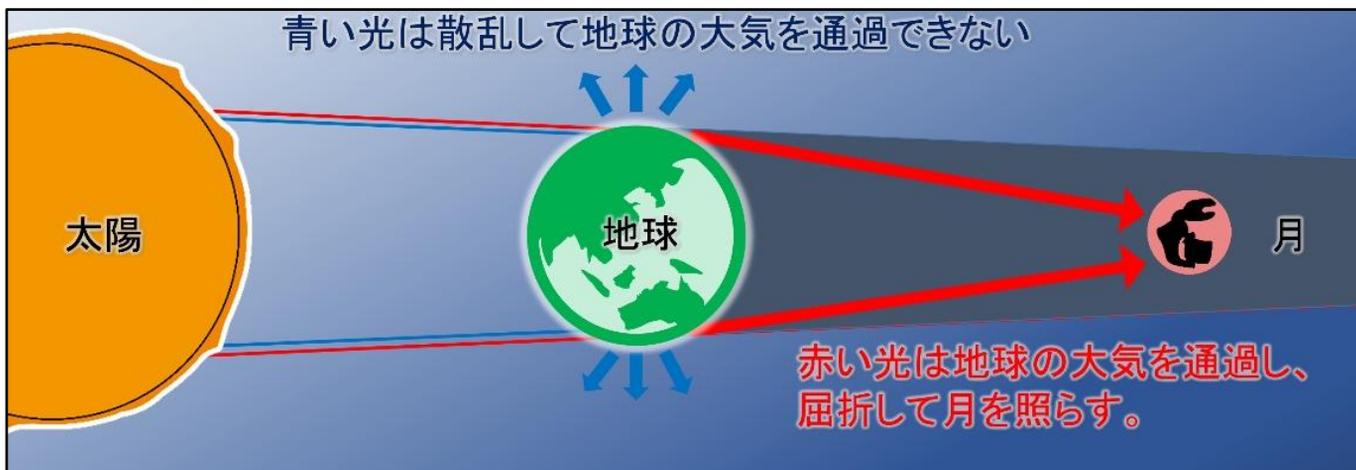
【お問合せ】宮崎科学技術館
TEL:0985-23-2700

〔月食解説〕

<皆既月食の月はなぜ赤い・・・！？>

皆既月食中の月は真っ黒になって見えなくなるわけではなく「赤銅（しゃくどう）色」と呼ばれる赤黒い色に見えます。皆既月食のとき、月はどのようにして赤く見えるのでしょうか？これには夕陽を赤く見せるのと同じ「散乱」という現象が関係しています。

地球のまわりには大気があります。太陽光が大気の中を通過するとき、波長の短い青い光は空気の粒によって散乱し、大気をほとんど通過することができません。一方、波長の長い赤い光は空気の粒の影響を受けにくいため通過することができます。また、大気がレンズのような役割となり、太陽光が屈折されて本影の内側に入り込みます。この屈折した赤い光が皆既月食中の月を照らし、月が赤く見えるのです。



<月食の魅力>

月食の魅力は、何と言っても変化していく部分食の形の変化と、皆既月食中の月面の色の変化です。皆既月食中の月面の色はいつも同じでなく、地球の大気中に塵が少ないと大気を通り抜ける赤い光の量が多くなり明るいオレンジ色に、逆に塵が多いと大気を通り抜ける赤い光の量が少なくなり、黒っぽく見えます。

また、皆既月食中は満月の輝きが失われるため、周辺の星々も鮮やかに見ることができます。神秘的な赤い月と輝く星々の共演をゆっくりお楽しみください。

「月食」の仕組みを理解して、実際の天文現象を見てみると、観察がもっと楽しくなりそうじゃの～♪

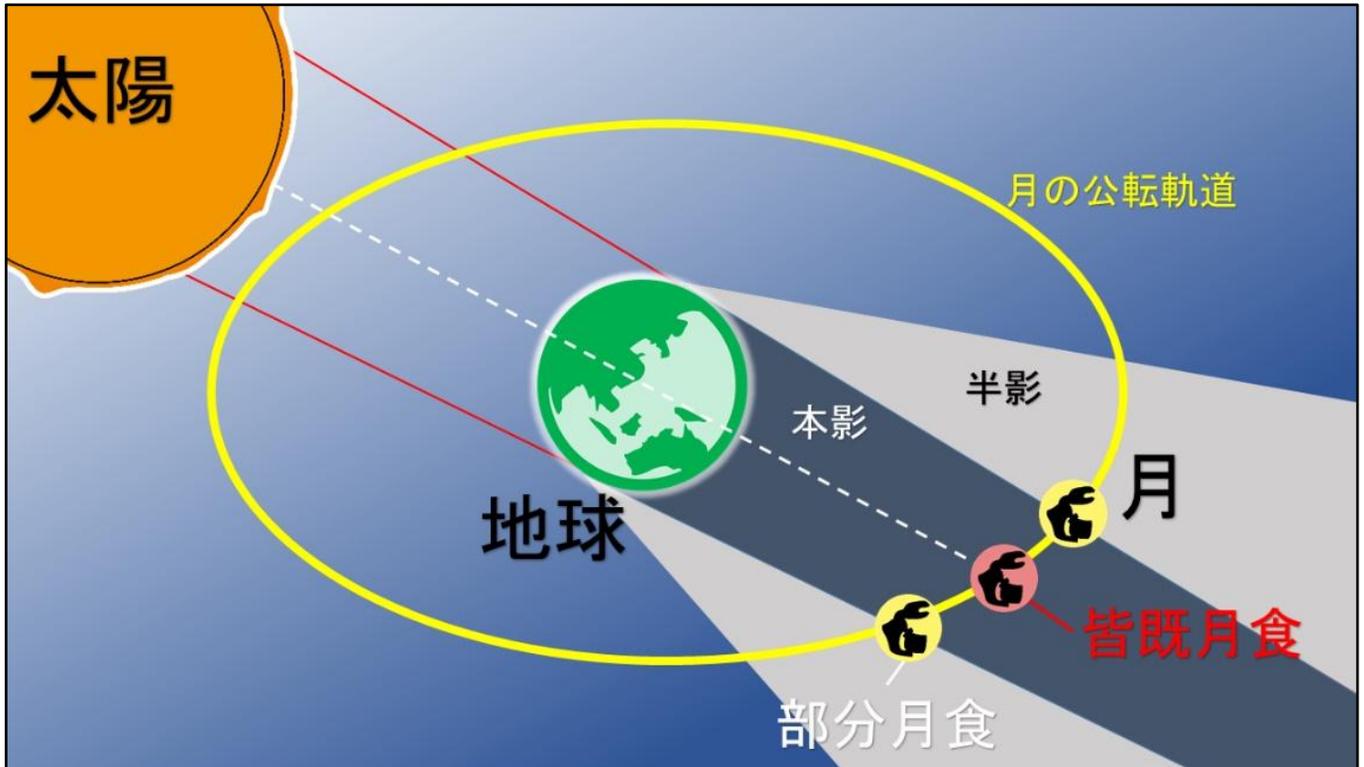


〔月食解説〕

<月食って!?!>

月食とは、太陽と月の間に地球が入り、太陽・地球・月の順番に一直線に並んだときに地球の影に月が入り、月にかけて見える現象です。

しかし、月が完全に地球の影に入る「皆既月食」の場合でも、月は完全に見えなくなるのではなく、赤色に見えます。



<地球の影が2つある・・・!?!>

地球の影には「本影（太陽光がほぼさえぎられた濃い影）」と「半影（本影を取り囲む薄い影）」の2種類があります。月がどちらの影に入り込むかによって、月食の名前が変わります。

【半影食】 月の一部または全部が半影だけに入った状態。半影は薄い影なので、目で見ただけでは月が欠けているかどうか、はっきりとわかりません。

【本影食】 月の一部または全部が本影に入った状態。本影は濃い影なので、月がはっきりと欠けたようにみえます。月の一部だけが本影に入り込む現象が「部分食」、月の全てが本影に入り込む現象が「皆既食」です。